



東北大学主催

エネルギーシンポジウム 2050年の世界と東北

人口増加と産業の発展に伴い、世界全体のエネルギー需要が増大する一方で、日本は人口とエネルギー需要の減少が予測されています。相反するエネルギー環境の中で、地球温暖化の抑制と持続可能な社会の形成を目指し、東北から新たなエネルギー社会を発信します。

2016 3/7 Mon.

参加
無料

会場

仙台国際センター
大ホール (会議棟)

地下鉄東西線 国際センター駅 隣接

〒980-0856

仙台市青葉区青葉山無番地

<http://www.aobayama.jp/>



お申込み

下記 URL にアクセスし必要事項をご記入の上、3/4 (金) までに送信して下さい。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/e324383c417868>

お問合せ

エネルギーシンポジウム「2050年の世界と東北」開催事務局

✉ tohoku2050@fmail.ifs.tohoku.ac.jp

☎ 022-217-5302 (東北大学流体科学研究所 総務係)

13:30 / 開会の挨拶 里見進 東北大学 総長

13:45 / 基調講演 「今後の科学技術政策について」
原山優子 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員

14:25 / 東北大学の取り組み
エネルギー研究連携推進ワーキンググループ

14:55 / 企業の取り組み
① NTT データカスタマサービス (株)
② (株) 東芝

15:25 / 休憩

15:40 / パネルディスカッション「産学官連携を通じたエネルギー産業化への貢献」

ファシリテーター 進藤秀夫 東北大学 産学連携担当理事

パネリスト 中村仁 東北経済産業局 資源エネルギー環境部 部長

大和田野芳郎 産総研 福島再生可能エネルギー研究所 所長

菊田敦 仙台市 まちづくり政策局 防災環境都市推進室 室長

古川齊司 (株) バイオマスパワーしずくいし 代表取締役社長

16:50 / 学生オピニオン

17:00 / 閉会の挨拶 伊藤貞嘉 東北大学 研究担当理事

